

ご来場の皆様

OSSライセンスと著作権法のポイント ~正しい、OSSライセンスの理解の仕方

2019年12月23日
NEC OSS推進センター・姉崎章博

フリー(自由)ソフトウェア/OSSの概史

藤田昭人「Unix考古学」第8章より 『ソースコード付きで配布』というOSSの先駆け/元祖であるUnix	1970年代
UCBの学生ビル・ジョイがBSD版UNIXを開発...	名無しさん
リチャード・ストールマンがGNUプロジェクトを開始...	1980年代
GNU EmacsがFree Software(自由ソフトウェア)としてリリース...	
GNU GPL	フリーソフトウェア
CERNで初めてWorld Wide Webが構築される	1990年代
リーナス・トーバルズが最初のLinuxをリリース(GNU GPLv2)	
Netscapeが「オープンソース」 Mozillaとして公開(MPL)	オープンソース

LinuxのGNU GPLv2をはじめ、他の条文は長い - それでもGPLv3の6割
これが6Pもあり、なかなか読むのはしんどい しかも、正式には原文は英文 でも、コミュニティのサイトや OSDNサイトに日本語参考訳があります。 https://ja.osdn.net/projects/opensource/wiki/licenses

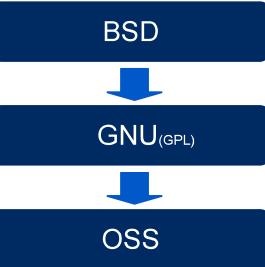
OSSライセンスは、OSSの受領者が再配布など著作権の行使の許諾
著作権を行使しないなら、ライセンス条件は関係ない
同じOSSを使ったアプリケーション開発したとしても お客様にサービスを提供する社内WebシステムでGPLのOSSを使っている、著作権を行わないから何も問題はない。このシステムを他企業に横展開するとなると複製・著作権行使。GPLの条件を満たす対応が必要になる。開発がないので要注意。

Orchestrating a brighter world

未来に向かう、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値を実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、卓越した技術でさまざまな知識やノウハウを蓄積することで、世界の国々や地域の人々と協調しながら、明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

出現順でいうと



OSSライセンスには、どんな条件が書かれているか

各ライセンスで表現は様々ですが…

●著作権表示、条文本体、免責条項を見るように(コピー)すること、など	BSDライセンスなど GPLなど こちらだけの条件ではない
●バинаリのソースコードを(または、その申し出)添付すること、など	

さて、これらは、義務ではなく条件ですが、何の条件か?

つまり、OSSライセンスは ソフトウェアライセンス(EULA) と違う(1/3)

	ソフトウェアライセンス	OSSライセンス
1.主な許諾内容が違う	使用の許諾	(著作権法上の)利用の許諾

1.主な許諾内容が違う

- ・ソフトウェアライセンスは、一般に(インターネット)実行する際に、クリックオンなどで使用の許諾を求めるものです。※著作権が無いのだから、許諾を求める権利は無い。
-
- ・一方、ほとんどのOSSライセンスは著作権に基づいており、著作権法上の利用、つまり、複製や改変、散布などの支分権の行使をいくつかの条件のもと許諾するものです。

つまり、OSSライセンスは ソフトウェアライセンス(EULA) と違う(2/3)

	ソフトウェアライセンス	OSSライセンス
1.主な許諾内容が違う	使用の許諾	(著作権法上の)利用の許諾
2.主な許諾形式が違う	契約(双方の合意)	ライセンス(一方的な許諾)

2.主な許諾形式が違う

- ・ソフトウェアライセンスは、一般に双方の合意(agreement)としての契約です。著作権に使用権は存在せず、クリックオブ(チェック)で契約の体裁を取っています。
-
- ・ほとんどのOSSライセンスは、一方的な許諾という本来の意味での「ライセンス」です。

※に付ける限り(つまり著作権のないところ)、OSSライセンスの条件を満たさねば、許諾される。

OSSライセンスを学ぶ理由(例)

OSSの多くは他人の著作物です。

勝手気ままに利用できるわけではありません。

毛嫌いして同じ機能を自社開発すれば

生産性は悪化します。

OSSライセンスを理解して、

選択肢を拡大しましょう。

OSSのライセンスの例

IoT: 繋がるデバイスには、TCP/IPの実装が必要

●本家: * BSD FreeBSD Copyright等BSDライセンス

●Linux GNU General Public License(GPL)v2

●クラウド OpenStack Apache License 2.0

●SDN OpenDaylight Eclipse Public License (EPL)-1.0

●ビッグデータ Hadoop Apache License 2.0

●運用管理 Hinemos, Zabbix GNU GPLv2

●データベース PostgreSQL PostgreSQL License BSDライセンス

●MySQL GNU GPLv2

●オフィスソフト LibreOffice Mozilla Public License(MPL)v2.0

(創作性のある)プログラムは著作物として保護される

日本国著作権法 第十条 (著作物の例示)

一 小説、脚本、論文、講演その他の言語の著作物

二 音楽の著作物

三 舞踊又は無言劇の著作物

四 絵画、版画、彫刻その他の美術の著作物

五 建築の著作物

六 地図又は・・・その他の図形の著作物

七 映画の著作物

八 写真の著作物

九 プログラムの著作物

OSLライセンスの位置づけ

OSSライセンスは、OSSの受領者が再配布など著作権の行使の許諾

クリエイターや著作権者による著作権の譲渡や譲り受け、譲り受けた者がそれを再び譲るなどの契約行為は存在しない。

無断なら他の人の著作権侵害

Webで公開他人の複製権の行使

無断で使用可能

Webサーバー Apache HTTPd

OSLなどのOSSライセンス条件を満たせば、許諾される

共有フォルダ Samba

生産

無断で使用可能

他人の複製権の行使

無断なら他の著作権侵害

OSSライセンスは ソフトウェアライセンス(EULA) と違う(3/3)

	ソフトウェアライセンス	OSSライセンス
1.主な許諾内容が違う	使用の許諾	(著作権法上の)利用の許諾
2.主な許諾形式が違う	契約(双方の合意)	ライセンス(一方的な許諾)
3.主な許諾対象が違う	プログラム製品(PP)	(プログラム)著作物

3.主な許諾対象が違う

・ソフトウェアライセンスは一般にプログラム製品を使用(実行)する際の全体としての許諾です。

SW/HW製品 プログラム1 プログラム2 プログラム3 対象範囲 ソフトウェアライセンスS1

・一方、OSSライセンスは、許諾対象は個々のプログラムの著作物。

SW/HW製品 プログラム1 (OSS)ライセンス1 プログラム2 (OSS)ライセンス2 画像3 (OSS)ライセンス3 ライセンス3 対象範囲 プログラム1 プログラム2 画像3

例えば

昔、GPLのOSSでビジネスはできない

と考える人が少なくなかった。

Linuxディストリビューションを

販売することはGPL違反という人もいた。

Red Hat社は、サブスクリプションモデル

(購読料、保守サポート)でビジネスに成功した。

OSSライセンスの理解を深めれば、新しいビジネスが開けるかもしれない。

以上の通り、ソフトウェアライセンスの一種かのような表現は不適切

そんなことは保証されていない

オープンソースは「ソースコードを誰でも自由に利用できる」とする
ソフトウェアライセンスについて、その利用を許可しています。
とか、言う人が多いが…

ほとんどのオープンソースは、
著作権の行使を条件付きで許諾するライセンスによって、
その利用を許可しています。

ソフトウェアライセンスの一種と思い込んでいる人が多いので
「ソフト屋に外注しているから大丈夫」とは限らない

17 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Operating a brighter world NEC

「訴訟リスク」とか言う人がいるが、それ以前に… 犯罪

他人の権利	所有権	著作権
他人の権利の行使	商品の持出し	GPLの著作物の頒布(複製)
行使が許される条件1	現金支払い	ソースの添付
行使が許される条件2	約束 (ツケ、カード支払い)	ソース提供する旨の 申し出の添付
条件を満たさず行使	窃盗(万引き)	著作権侵害(GPL違反)

刑法 第235条
十年以下の懲役又は五百万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。
刑法 第242条 法人「三億円以下の罰金刑」

「GPLでも要求されたら、ソース公開すれば良い」という誤解がありますが
それでは、既に、著作権侵害してしまっている

「見つかったら、払えばいい」という万引き常習犯の言い分と変わらない

だから世界中で、権利を有している人だけが許諾(ライセンス)可能

GPLでライセンスされたOSが複製、改変した著作物にも
GPLを適用しなければならない。とか、言う人が多いが…

GNU GPLのOSSは、GPLに記載された条件で
複製・改変が許諾(ライセンス)されています。

開発(著作)者がGPLで許諾しているのであって、
受領した人にGPLを適用する権利など無い

25 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Operating a brighter world NEC

作者自身が「GNU GPLは、契約ではない」と述べている

例は、GPLv2当時FSF法務担当で、のちに、GPLv3起草者の一人であるコロンビア大学のEben Moglen先生は2001年、以下の文書を公開



Enforcing the GNU GPL

by Eben Moglen

10 September 2001

<http://www.gnu.org/philosophy/enforcing-gpl.html>

Licenses are not contracts: ライセンスは契約ではない

2009年12月14日 SFLCにBest Buyなど14社がGPL違反で提訴された
SFLC: Software Freedom Law Center <http://japan.o-net.com/news/biz/20405353.html>

1. Best Buy's Blu-ray DiscPlayer ブルーレイ・プレイヤー
2. Samsung's LCD HDTV's HDテレビ
3. Westinghouse's LCD HDTV デジタルサイネージ
4. JVC's LCD HDTV and IP Network Camera
5. Western Digital's WD TV HD Media Player
6. Bosch's Security System DVR
7. Phoebe Micro's wireless routers and IP Motion Wireless Camera 監視カメラ
8. Humax's HD HDTV DVR
9. Comtrend's bonded modems
10. Dobbs-Stanford's digital media player ルーター
11. Versa Tech's weatherproof dual radio outdoor wireless access point
12. ZyXEL's 4 Port Router
13. Astak's security camera system with DVR and security system DVR devices
14. GCI's digital music controller

<http://www.o-net.com/news/2010/jun/97metimeagainstwestinghousedigital-electronics.aspx>

6月7までに和解 製品出荷停止による損害額を計算してみてください。

8月3日、欠席裁判で販売停止命令 + 9万ドルの損害賠償金 + 訴訟費用(約47万ドル)

<https://conservancy.org/news/2010/aug/3/blu-ray-dvd/>

このようなリスク(?)に対して、何をしなければならないか?

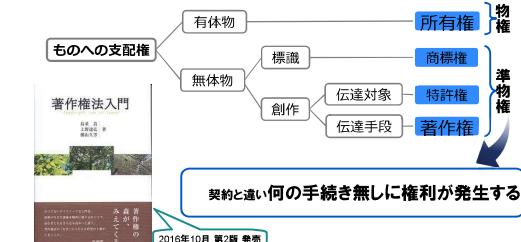
OSSは一般に他人の著作物

であることを理解し、
そのように扱うこと

なぜか? 著作権も「ものへの支配権」の一つだから

著作権法入門、有斐閣、2009、P8

島並 良(神戸大学教授)、上野 達弘(立教大学准教授)、横山 久秀(学習院大学教授)／著



2016年10月 第2版 発売

20 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Operating a brighter world NEC

著作権 (2/2)

アメリカ 著作権法 和訳 <http://www.oic.jp/db/world/america.htm>

第106条 著作権のある著作物に対する排他的権利

第107条ないし第122条を条件として、本編に基づき著作権を保有する者は、以下に掲げる行為を行なったことを許諾する排他的権利を有する。

(1) 著作権のある著作物をコピーまたはレコードに複製すること。

(2) 著作権のある著作物に基づいて二次的著作物を作成すること。

(3) 以下省略

表現は違っていても、同じようなことを言っている

24 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Operating a brighter world NEC

開示義務などと認識していると著作権侵害してしまう不適切な表現

GPLでライセンスされたものは、ソースコードの開示が義務付けられている
とか、言う人が多いが…

GNU GPLのOSSは、ソースコードの開示が
バイナリ形式での再頒布の際の、許諾(ライセンス)条件の一つです。

「条件」だから、
再頒布しなければ、開示しなくてもよい

そもそも、GPLの作成者は、
義務(債務)が発生する「契約」のつもりで作成していない。

28 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Operating a brighter world NEC

OSSライセンスと著作権法は、理解しよう

OSS専門業者を自認する人が

根拠の無い、聞いただけの話を繰り返している?!

いい加減な表現を習得しては危険でしょう。

正しく、「著作権」というものを理解して、

著作権に関する記述としてライセンス条文を理解すべき。

ほんの少し、根拠や論理を心がけましょう。

著作権を基にして、「結合著作物」で考えると
GPLの伝播の誤解、例えば

ウィキペディアのGPLのライブラリの説明の
何が、間違った言い分か、何が、正しい言い分か、わかる

https://ja.wikipedia.org/wiki/GNU_General_Public_License

ライブラリ

…、次のようにいくつかの異なる見解が存在する。

見解：プロプライエタリ・ソフトウェアを動的リンク、静的リンクす
ることはGPLに違反する

見解：プロプライエタリ・ソフトウェアを静的リンクすることはGPL
に違反するが、動的リンクに関しては不明瞭

見解：リンクは無関係である

33 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

ちなみに、OSS検出ツールで違反を判定できるわけではありません

違反の候補になり得る、OSSソースコードに似たコードを検出

検出されたコードが違反か否かは人手で確認する必要があります

●検出されたコードは、著作権があると言えるコードか？

●誰がコーディングしても同じになるコードに創作性があると言えない

・コード変換テーブル

・エラーコード一覧の#defineのヘッダファイル

・インターフェース仕様でしかないヘッダファイル

・ハードウェアに依存したシケンス

・既に著作権も不明な、誰でも知っているロジックのコード、など

●全く同じでも一切参照せず独自にコーディングしたものではないか？

●GPLのOSSとBSDのOSSなど複数のOSSに一致した場合、

まず、どれを流用したと考えるのが妥当か？

●等々

ツール結果の解析方法を支援でなければ、宝の持ち腐れ

37 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

GPLの伝播の誤解は、著作権の理解から積み上げてから
■OSSライセンスと著作権法 講義(5H)

第1章 OSSは一般に他人の著作物

第2章 OSSライセンス違反とは

第3章 著作権について

第4章 OSSライセンスの概略

第5章 GPL感染/伝播などの都市伝説について

第6章 基本的な対策例

補遺 GPL v3について

著作物・著作権が
どういうものか
理解いただいたから、
著作権行使の
許諾

としてみると、
何が記述されている
のか理解できる

NECグループ内では、2006年から約10年で、web教育を除き

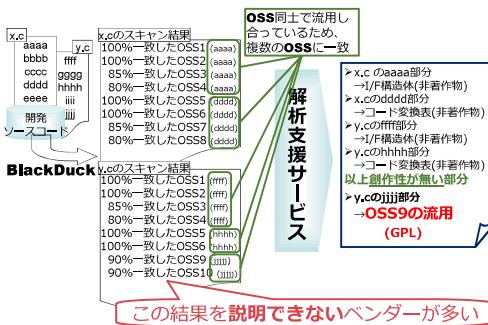
累計約100回、約3000名が集合教育を受講

次回、2020年3月10日 NEC本社で実施予定。
詳解は、<https://jpn.nec.com/oss/osslc/> 共載PDF参照

一人8万円の公費(公募)セミナーの開催も可能
・他社と同様、補遺データ無し、短縮4.5H

38 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

結果から、未対応だと違反になるOSSとライセンスを特定



39 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

この結果を説明できないベンダーが多い

OSSライセンスを正しく理解するための本 順次公開中

第1章 OSSの初步

5/27公開

第2章 OSSライセンスの概要

6/27公開

第3章 OSSライセンスの都市伝説

11/5公開

第4章 OSSを使ったビジネスで気をつけること

82

第5章 トラブル回避のための基本的な施策案

102

第6章 コンサル事例

118

第7章 余談：著作権法とNEC創立の関係

143

<https://jpn.nec.com/oss/osslc/article.html#article08>

39 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

使っているOSSとライセンスは判明した。で、何をすれば？

という、自らの理解が不安な方のために

■製品個別・対策支援アドバイス・サービス

入力

1.一覧

2.OSS名とバージョン

3. OSSライセンス名とバージョン

4.入手先など

2.製品の販売(販売)形態

3.開発アプリでのOSSの使い方(図)

出力

・ライセンス違反になり

そうなところを指摘

・条件を満たす対応策を

提案

・当然、後の祭りもあり

得る

Linux用ドライバの
ソース開示がない
デバイスを選択済み

<https://jpn.nec.com/oss/osslc/OSSproduct.html>

39 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

読んでわからない方には、OSSライセンス コンサルティング
OSSライセンスの講義や、OSS利用ガイドラインの作成支援、さらに、それを取り込む
品質・開発管理プロセスの改善支援、その他アドバイス支援をご提供します

<https://jpn.nec.com/oss/osslc/>

コンサルティング

- 1. OSSライセンスと著作権法講義「なんともいひ切れないGPL用語から」と題する著作権法からOSSライセンスをお話しする講義です
- 2. OSS利用ガイドライン作成支援サービス実際で利用OSSを軸に、OSSライセンスの正しい理解・解釈方法及び対応策をアドバイス致します
- 3. 開発管理プロセス改善支援サービス開発管理プロセスアドバイスサービスを始めとする開発プロセス改善サービスを提供しております
- 4. 活動支援アドバイス・サービス開催されるOSSセミナー・コンファレンス活動に対して、年間を通してアドバイスサービスを提供します
- 5. 製品個別・対策支援アドバイス・サービス顧客の特徴や要件に対して、目的あらわいサービスを利用した結果、認識されたOSSライセンス違反に対して、アドバイスを提供します



36 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

Orchestrating a brighter world

NEC